

# インドネシア首都州知事選での 現職敗退はジョコ大統領にも痛手

アジア調査部主任研究員

菊池しのぶ

03-3591-1427

shinobu.kikuchi@mizuho-ri.co.jp

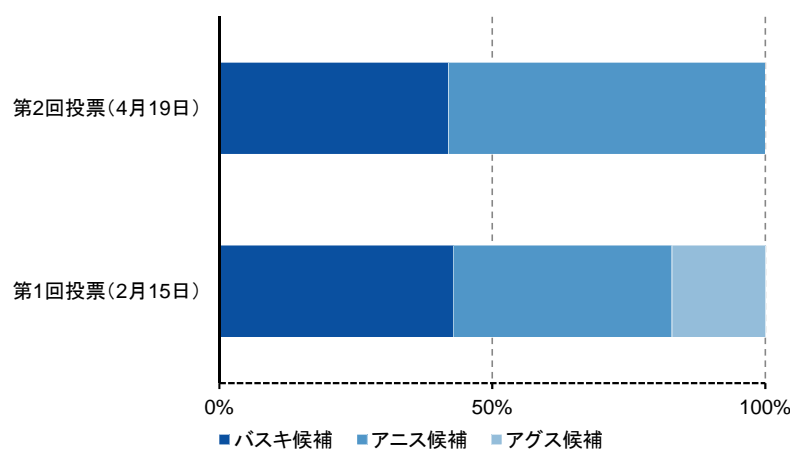
- 4月19日に実施されたジャカルタ州知事選の決選投票の結果、新人のアニス・バスウェダン氏が現職を破って当選した
- 今回のジャカルタ州知事選は、2019年の大統領選挙の前哨戦としての国政への影響、バスキ現知事への反対デモが頻繁に起こる中での治安への影響という2つの観点から注目されてきた
- アニス氏の勝利により、反バスキ派のデモは鎮静化に向かうとみられる。一方、バスキ知事と関係の深いジョコ大統領の支持に陰りが生じ、同氏の進める改革の機運が弱まることが懸念される

## 1. 4月19日に実施された決選投票の結果、アニス氏が勝利

4月19日、ジャカルタ首都特別州（以下、「ジャカルタ州」という）において、5年に1度の州知事選挙の決選投票が開催され、接戦を制してアニス・バスウェダン氏が58%の得票率を得て勝利した（図表1）。第1回投票では、対抗馬のバスキ・チャハヤ・プルナマ現職知事が首位であったが、決選投票では、アニス氏が第1回投票で3位であったアグス氏の票を取り込んで勝利した。

本稿では、ジャカルタ州知事選が注目を集めた背景を解説し、アニス氏の勝因を分析した上で、今後のインドネシアの国政への影響を考察する。

図表1 選挙結果



(注)1. 第2回選挙の結果は、ジャカルタ・ポスト紙に掲載された速報値。

2. 公式な選挙結果は5月第1週目までに発表される予定。

(資料)現地報道よりみずほ総合研究所作成

## 2. ジャカルタ州知事選は「国政への影響」、「治安への影響」から注目

### (1) 国政への影響：2019年の大統領選挙でジョコ大統領再選のはずみとなるか

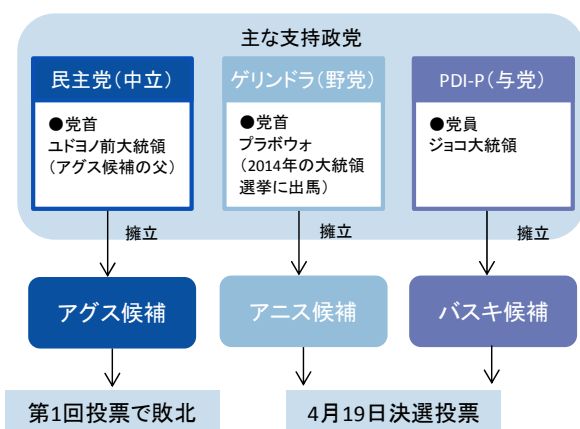
ジャカルタ州知事選が注目を集めた背景には、前回の州知事選が2年後の大統領選の前哨戦になった経緯がある。2014年7月の大統領選に勝利したジョコ・ウィドド大統領は、その2年前に実施された2012年9月のジャカルタ州知事選で現職のファウジ・ボウォ氏を破って当選した。当時インドネシアの地方都市ソロ市の市長であったジョコ氏が、首都の州知事選で有力視されていた現職候補を破ったことで、全国的に知名度が上昇してカリスマ性が高まり、その勢いを駆って、2014年の大統領選挙に出馬し見事勝利を収めた。

今回の州知事選は、ジョコ大統領の事実上の信任投票にもなっていた。ジョコ大統領の所属するPDI-Pが擁立したバスキ氏が今回の選挙で選出されれば、現職大統領の改革政策と再選に弾みがつくと考えられていた(図表2)。他方、対立候補であるアニス氏が勝利すれば、改革のモメンタムが失われるとともに、2019年の大統領選挙では、アニス氏もしくはアニス氏の後見人であるプラボウォ氏がジョコ大統領の強力なライバルとなり、大統領の再選が危ぶまれる可能性も出てくるとみられていた。

### (2) 治安への影響：現職知事に対するデモが頻発

また、ジャカルタ州知事選を前に、現職知事に対する反対デモが頻発し、治安の不安定化につながったことも、州知事選が注目されるきっかけとなった(図表3)。反対デモのきっかけは、2016年9月にバスキ知事がサウザンド諸島において行った講演会での発言だ。バスキ候補は、コーランの一節を用いて、キリスト教徒である同氏の再選を阻もうとする勢力があることを皮肉の発言をした<sup>2</sup>。その後、大学教授のプニ・ヤニ氏がこの発言のビデオをフェイスブックに投稿し、その見出しにバスキ知事がイスラム教徒がコーランの一節に騙されていると発言したと掲載したため、これが多くの反発を得て拡散され、反バスキデモにつながった<sup>3</sup>。こうした反バスキデモを首謀したのは、インドネシアにおける代表的な急進派イスラム組織であるイスラム防衛戦線(Islamic Defenders Front、インドネシア語ではFront Pembela Islam、FPI)と言われている。

図表2 知事候補とその支持政党



(資料)現地報道より、みずほ総合研究所作成

図表3 バスキ知事に反対する主なデモ

実施日	概要
10月14日	・ 規模は約5,000名
11月4日	・ 規模は約5~10万人 ・ 一部デモ参加者が暴徒化し約350名が負傷、1名死亡 ・ ジョコ大統領は通常業務を行いデモを静観する姿勢
12月2日	・ 規模は20万人以上 ・ ジョコ大統領がデモの中心で演説を行い、演説の最後にデモ参加者に帰宅を促す ・ 暴動は起こらず
2月11日	・ 規模は10万人以上 ・ 選挙前のため街頭デモ活動が警察により禁止されたことから、モスクでの集会を実施 ・ ジャーナリストが一部デモ参加者に暴行を受ける
3月31日	・ 規模は1~2万人

(資料)現地報道より、みずほ総合研究所作成

### 3. アニス氏の勝因はイスラム保守層の票を取り込んだこと

国政への影響と治安への影響から注目されてきたジャカルタ州知事選を制したのはアニス氏であった。ここでは、アニス氏が決選投票で勝利した背景を分析する。

アニス氏はインドネシアの人口の9割近くを占めるイスラム教徒であり、米国のメリーランド大学で公共政策学の修士号、北イリノイ大学で政治学の博士号を取得するなど高い学歴の持ち主である。過去に選挙討論会の司会者やユドヨノ政権期の汚職事件調査チームの一員として活躍し、ジョコ政権下の2014年10月～2016年7月の約2年間に、教育文化大臣を務めた。

選挙戦では、イスラム票を取り組むべく、敬虔なイスラム教徒であることをアピールした。例えば選挙キャンペーンでは常にムスリムの男性がかぶるペチと呼ばれる黒い帽子を身に着けたり、前述のFPIとの親密さをアピールしてきた。同氏は2004年に「Political Islam in Indonesia: Present and Future Trajectory」という論文を執筆しており、その中でインドネシアの政治においてイスラム票を取り込むことがいかに重要かについて言及している<sup>4</sup>。前述のとおりバスキ氏へのイスラム教徒の反発が強まる中で、アニス氏はイスラム票を取り込んだことが今回のジャカルタ州知事選での同氏の勝因となったとみられる。

### 4. 今後の見通し

前述のとおり、アニス氏勝利の背景には、イスラム票を取り込んだことがあるとみられる。選挙前にジョコ大統領は穏健派イスラムのリーダーと会合を重ねてバスキ氏への支持を取り付けるなど尽力してきたものの、アニス氏のイスラム集票力が勝ったようだ。この結果、ジョコ大統領の求心力低下につながり、現在ジョコ大統領が進める経済改革の機運が弱まることが懸念される。さらに、ジョコ大統領は2019年の大統領選で再選を狙い、それにより経済改革のさらなる進展を目論んでいるものの、今回の州知事選のバスキ氏敗北による求心力の低下で、再選可能性が低下したと考えられる。アニス氏の後ろ盾となったのは、2014年の大統領選挙でジョコ氏と接戦で敗北したプラボウォ氏であり、同氏かまたはアニス氏が2019年の大統領選挙でジョコ大統領に挑戦する可能性は十分にある。

一方、治安についてはバスキ氏が敗北したことで当面は安定することが予想される。アニス氏は敬虔なイスラム教徒であることから、アニス氏に反対するイスラム保守派・強硬派のデモなどが実施されることは想像しにくい。ただし、バスキ氏が敗北し、事実上イスラム保守派の主張が受け入れられたことで、インドネシア社会において華人やキリスト教徒などマイノリティへの寛容性が低下する可能性が出てきたことには留意が必要だ。

---

<sup>1</sup> Indonesia Investments “Politics in Indonesia: Jakarta’s 2017 Gubernatorial Election” (February 1, 2017) によると、地方条例の規定で、22 以上のジャカルタ州議会の議席を有する政党または複数政党の連合が知事候補を擁立できる。なお、50 万以上の住民の署名を集めることができれば無所属での立候補が可能とされる。

<sup>2</sup> Jakarta Post “Ahok’s speech not blasphemous: Expert” (March 21, 2017) によると、バスキ氏は、「みなさんは、私に投票できないと感じるかもしれません。なぜなら、(あなた方は) コーランの一節を用いてうそをつかれているからです。(括弧内は Jakarta Post による補足)」と発言したという。

<sup>3</sup> Jakarta Post “Ahok’s fiercest critics face hate speech charges” (November 25, 2016) 参照。なお、フェイスブックに映像を投稿したズニ教授は現在、宗教対立を扇動した罪で告発されている。

<sup>4</sup> The guardian “Jakarta election challenger Anies accused of courting Islamic vote amid religious divide” (April 15, 2017) 参照。

●当レポートは情報提供のみを目的として作成されたものであり、商品の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成されておりますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。また、本資料に記載された内容は予告なしに変更されることもあります。